



社協だより

# かけはし

発行

社会福祉法人  
四日市市社会福祉協議会  
四日市市諏訪町2番2号  
電話 059-354-8265  
ファクス 059-354-6486  
E-mail  
y-syakyo@m5.cty-net.ne.jp  
平成21年2月20日発行

第100号

社協だより「かけはし」が100号を迎えました。はさみこみ記念紙もご覧ください。

平成20年度  
四日市市社会福祉協議会

## 市民福祉講演会のご案内

### 『ひとつしかない命～1リットルの涙～』 講師 木藤潮香



講師の木藤潮香さん

生命、思いやり、家族のつながりの大切さを、難病・脊髄小脳変性症を発症した娘・亜也さんとの生活を通し、実体験に基づいてお話いただきます。

どなたでもご参加いただけますので、お気軽にご来場ください。ただし、会場の席数には限りがございますのでご了承ください。

**日 時** 平成21年3月7日(土) 13時30分～15時30分

**場 所** 四日市商工会議所会館 1階 会議所ホール

**参加費** 無料

**その他の** 手話通訳、要約筆記があります。磁気誘導ループを設置します。

**問い合わせ先** 総務課管理係

電 話:059-354-8265 ファクス:059-354-6486

## 赤い羽根共同募金運動 ご協力ありがとうございました。

平成20年度の赤い羽根共同募金運動では、みなさまからのおたたかいご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

みなさまからいただきました募金の内、一般募金は、三重県共同募金会を通じて県内の社会福祉施設の設備充実や市町社会福祉協議会が実施する福祉事業(地区社会福祉協議会活動支援、ボランティア活動支援など)の資金として配分されます。

また、歳末たすけあい募金は、見舞金として市内の福祉施設利用者、在宅のねたきりや認知症の高齢者、在宅重度障害児者、交通遺児の方々に届けられました。

募金実績(平成21年1月30日現在)

[一 般 募 金] **35,894,587円**  
[歳末たすけあい募金] **7,180,214円**



共同募金歳末見舞金配分式の様子

### 第100号の おもな内容

- よっかいち福祉の店即売会お礼 ..... P2
- 障害者自立支援施設たんぽぽ お餅つき大会報告、  
身体障害者授産施設あさけワークス 地域交流報告 ..... P3

ホームページを開設しています。 <http://yokkaichi-shakyo.or.jp/home/>  
E-mailアドレスが変わりました。 y-syakyo@m5.cty-net.ne.jp

ご利用いただき、  
ありがとうございました

# 『よっかいち福祉の店』即売会

『よっかいち福祉の店』は、在宅の障害者、高齢者及び福祉施設利用者のみなさんのが作られた作品の展示販売を通して、その社会参加を支援しています。また、民生委員児童委員やボランティアのご協力を得ながら、四日市市総合会館店とジャスコ四日市尾平店を常設店として、多くの人にご利用いただくことで福祉の理解が進むよう努めています。

ここ数年は、地域に積極的に出て行こうと、地区民生委員児童委員協議会や地区社会福祉協議会など、地域のみなさまのご協力を得て、即売会を開催させていただいている。今年度もたくさんの

即売会を開催することができ、ありがとうございました。

地域での即売会は、『よっかいち福祉の店』を知っていただく機会となり、施設の利用者からは、「自分たちの作品が、いろんな場所で販売されるので励みになります」という声や、ご協力いただいた地域の人からは「福祉の店をいつも楽しみにしている人が見えるのよ」との声もいただきました。地域とのつながりの大切さを実感しています。

今後も『よっかいち福祉の店』をよろしくお願いいたします。



ひとつひとつ  
手作りで、作ら  
れた製品に温  
かみを感じる  
から好きなの。

## 販売ボランティア募集

『よっかいち福祉の店』では、販売員としてお手伝いいただけるボランティアを募集します。詳しくはお問い合わせください。

### ◎総務課管理係

電話 059-354-8265  
ファクス 059-354-6486

ご協力いただきました地域や事業所のみなさま、ありがとうございました。

今年度開催させていただいた即売会は次のとおりです。

平成20年

- 4月20日(日) 桜とお茶マラソン大会
- 6月13日(金)  
北伊勢上野信用金庫住吉支店・サービスプラザひらた
- 7月3日(木)4日(金)  
北伊勢上野信用金庫富田支店
- 7月10日(木)11日(金)  
北伊勢上野信用金庫日永支店
- 7月14日(月)15日(火)  
北伊勢上野信用金庫鈴鹿支店
- 7月15日(火)16日(水)  
北伊勢上野信用金庫本店営業部
- 8月21日(木)~27日(水)  
中部近鉄百貨店手作り横丁
- 9月28日(日) 八郷西おとぎ運動会
- 9月28日(日) 楠健康ふれあいフェスタ
- 10月19日(日) 八郷ふれあい祭



- 10月26日(日) 塩浜文化祭
- 10月29日(水)~11月3日(月・祝) 東邦ガス(株)ガス展
- 11月2日(日) 県ふれあい文化祭
- 11月2日(日) 神前文化祭
- 11月2日(日) 大矢知文化祭
- 11月9日(日) 水沢文化祭
- 11月9日(日) 111四日市インしもの
- 11月24日(月・祝) 桜連合文化祭
- 12月6日(土)7日(日) じんけんフェスタ2008
- 12月15日(月)16日(火)  
北伊勢上野信用金庫本店・日永支店・富田支店
- 12月16日(火)17日(水)  
北伊勢上野信用金庫住吉支店・サービスプラザひらた
- 12月17日(水)18日(木)  
北伊勢上野信用金庫鈴鹿支店
- 12月21日(日) 楠ふれあいセンター(ゆめの木)「市」

# お餅つき大会で交流

四日市市障害者自立支援施設 たんぽぽ

平成20年12月11日(木)、地域に根ざした親しまれる施設づくりを目指しているたんぽぽで、地域のみなさんやボランティアとの交流を目的とした「お餅つき大会」を行いました。



前日から施設の畠を整地し、釜を2脚設置し、せいろやきね・うすの準備をしました。釜で燃やす薪は近隣の大工さんからいただき、地域の人から白菜・ねぎをいただきました。また、たんぽぽの畠で作った大根をひいたりと大いに盛り上がり、当日を迎えました。お天気に恵まれた「お餅つき大会」には、つき手の応援に「三重県宅地建物取引業協会 四日市支部」から8名、また、手がえしや調理の応援には地元の「四郷地区ボランティア団体 笹水会」から9名、ボランティアが5名、ご家族の応援が10名と心強いご協力をいただき、お餅を10臼(うす)つくことができました。利用者はボランティアの人と一緒に重いきねを振り上げ、「ヨイショ!ヨイショ!」の掛け声に笑顔いっぱいでした。また、つきたてのお餅を「利用者の人が食べやすいように小さくするね」と声をかけてくださったり、温かいご配慮のおかげで利用者全員がおいしく、楽しくお餅をいただくことができました。

食べきれなかったお餅は「鏡餅」にして、ご協力いただいた地域のみなさんと分け合いました。いろんな場面で多くの地域の人に支えられ、無事「お餅つき大会」ができたことを心より感謝しています。お腹も心もしっかり満たされた後、ボランティアのみなさんから「楽しかった」、「また来年もしたいね」、「いつでも声かけてね」などたくさんの励ましの言葉をいただきました。この言葉を「施設の宝物」とし、より地域に根ざした施設となっていきたいと思います。



# 八郷地区文化祭に地域の一員として参加

四日市市身体障害者授産施設 あさけワークス

あさけワークスは、地域のみなさんとのつながりを大切に、現在21名の登録ボランティアに協力いただき、地域に親しまれる施設づくりを目指しています。

平成20年11月9日(日)には、八郷小学校の体育館で開催された八郷地区文化祭に、ボランティア5名と一緒に参加し、自主製品の展示販売と点字名刺の実演を通して、地域のみなさんと交流することができました。

あさけワークスについてよく知っていただくことができ、たくさん的人に手作りのしおりなどの自主製品を購入いただきました。点字名刺の実演では、点字に関心を持っていただく場の提供ができ、多数の注文をいただきました。

また、販売だけでなく、地域の園児、児童、各サークルの作品を見学したり、お茶席で抹茶をいただきながら地域のみなさんとの会話をしたり、楽しく過ごすこともできました。

施設にとっても、利用者にとっても、地域の一員としての実感を得た充実した1日となりました。

八郷地区のみなさん、本当にありがとうございました。

点字名刺はこうやって作るんですね。  
注文、お願いします。



## 気軽におしゃべり～神前地区 ふれあいいきいきサロン「楽しく話そう会」～ 地域の福祉活動紹介コーナー(68)

今回は、神前地区のふれあいいきいきサロン『楽しく話そう会』です。

このサロンのスタッフによると、「最近は高齢者の近所付合いが減ってきてるので、気軽に集まって世間話ができる会を立ち上げたい」と思われたのがきっかけで、平成17年4月から上名ヶ丘集会所で活動が始まったとのことです。なかでも、男性が気軽に参加できるサロンになるようにと、スタッフは全て男性で構成されています。この想いが伝わり、参加者のうち約半数は男性です。

毎月第2、第4土曜日に開催されて



いるサロンでは、気軽にみなさんでおしゃべりし、手軽な食事を作つて身体を動かすなど、楽しく交流をされています。

以前には、折り紙でたくさん作品を作ったところ「せっかくだから、いろんな人にみてももらいたいね」、「展示するところないやろかなあ」という話があり、そこから、上名ヶ丘で文化祭を兼ねた交流会が行われました。自治会や子ども会とも協力し合いながら、趣味の作品展示や即売、そしてバーベキューをし、子どもから高齢者までが集まつた楽しい交流会になったそうです。

参加されていた人にこの会の魅力をお聞きしたところ、「家にいても一人だから、同じ年頃の人と会えるのがうれしいね」、「高齢者を狙つた犯罪が増えてきたので、知り合いがいると心強いな」、「ここが楽しくて、ここに来れるように頑張ってるんや」と、みなさ



んが月2回のこのサロンを楽しみに参加されていることが伺えました。

「ただ、集まっておしゃべりをするのがいいみたいです。気軽に来ることのできる場所で気軽に世間話をする、そして地域のつながりが途絶えないようにしていきたいですね」とスタッフの人。地域のみなさんとつながりながら暮らしていきたい、という想いが心に響きました。

今回紹介したサロンのように、地域のつながりを大切にした活動が四日市市全体に広がることを期待しています。

## かがやき障害者自立生活支援講座

今年の「自立生活支援講座」は先の北京オリンピック金メダリストの伊藤智也氏をお招きし、「障害者になって」をテーマとして、競技に参加された経験をもとにご自身の想いを語っていただきます。障害のある人もない人も「共に生きる」ことについて一緒に考えませんか。ぜひご参加ください。

**日 時** 平成21年3月8日(日) 13:30～15:00

**場 所** 四日市商工会議所会館・1階会議所ホール

**定 員** 200名(定員になり次第、締め切らせていただきます。)

**参加費** 無料

**その他** 点字資料、手話通訳、要約筆記があります。

磁気誘導ループ、赤外線補聴システムを設置します。  
託児につきましては、お申し込み時にご相談ください。

**申込締切** 2月27日(金)

※申し込み時に、ご住所、お名前、電話番号等連絡の取れる方法をお知らせください。

**問い合わせ／申込先**

四日市市障害者自立生活支援センター かがやき  
〒510-0085 四日市市諏訪町2-2 四日市市総合会館2階  
電話 059-354-8450 フax 059-354-8426  
E-mail kagayaki@m5.cty-net.ne.jp

## 心あたたまるご寄付 ありがとうございました

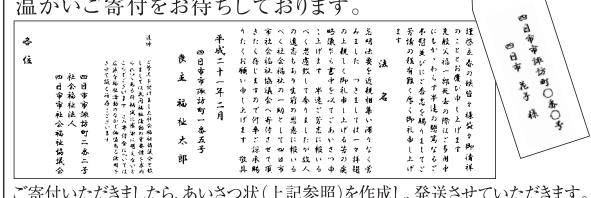
四日市市社会福祉協議会事業に、みなさまからのご寄付、ご寄贈をいただきました。ここに厚くお礼申し上げます。

(平成20年12月5日～平成21年2月3日)

- 川崎 敏彦様 ●小林 卓夫様 ●斎木 孝一様
- 杉野 泰宣様 ●鈴木 平四郎様
- (故)竹内 あさ子様 ●(故)伊達 莉永子様
- 野村 雅美様、壱阪 智美様
- 長谷川 正統様 ●朝明経済クラブ様
- (株)日本総合施設 代表取締役 里中 俊雄様、  
(株)光洋様、(株)シンコワ様、(株)日本メディア様
- 車いすダンス マーガレット俱楽部様
- 中日本土佐犬連合会 会長 塚本 智幸様
- 立法寺女人講 会長 宮崎 翠様

### 《香典返しの一部を社会福祉事業に》

ご寄付いただいた「香典返し」や「お祝い返し」は、社会福祉事業に活用させていただきます。  
四日市市社会福祉協議会では、みなさまの温かいご寄付をお待ちしております。



# 100号記念紙

## 社協だより「かけはし」が100号を迎えました!

### 創刊100号を迎えて

社協だより「かけはし」は創刊以来、約30年で100号を迎えることができました。これも市民のみなさま及び関係各位のあたたかいご理解とご協力の賜物と厚くお礼申し上げます。

本会は、昭和32年に結成され、昭和41年に社会福祉法人の認可を受けました。以降、市民のみなさまとともに、さまざまな地域福祉活動を展開してまいりました。そのなかで、社会福祉や市社協事業への理解を得ることを目的とする市民福祉啓発事業の一環として、昭和54年3月から社協だより「かけはし」の発行を続けてまいりました。市民のみなさまの目に留めていただきたい、ページを開いていただきたい、という思いで読者の方にとってわかりやすい記事構成を考えるとともに、録音版や点訳版の「かけはし」を発行させていただきました。

今、100号の歴史を振り返りますと、まさに、市民のみなさまとともに歩んだ市社協の歴史を刻むものであり、感慨深いものがあります。

今後とも下記の編集方針に基づいて、みなさまにとって、わかりやすく、親しみやすい広報紙づくりに努めてまいりますので、より一層のご支援をよろしくお願ひ申し上げます。

社会福祉法人 四日市市社会福祉協議会

創刊号。「かけはし」というタイトルは第10号から使用しています。



### 編集方針

社協だより「かけはし」は、次の3点を柱として、皆様方に情報を発信しています。

#### ●社協事業の紹介と福祉に対する理解の促進

社協事業を写真を用いるなどして、わかりやすくPRするとともに、事業の目的や方向性、成果、事業開催に至った市民ニーズなどを掲載することで、福祉活動への参加・協働を働きかけると同時に、福祉に対する理解の促進に努めます。

#### ●市民の福祉活動と市民の声の紹介

市内各地で取り組まれている、市民が主体となった福祉活動の紹介や参加者の声を掲載し、地域福祉活動の促進に努めます。

また、市社協事務局に「福祉提案箱」を設置し、市民等から福祉について思うことをご提案いただき、その内容を広報します。

#### ●福祉情報の提供

市民が求める福祉の動向など、福祉情報をなるべく早い段階でわかりやすく掲載し、市民の福祉意識の高揚に努めます。



# 録音かけはしの作成

～視覚に障害がある人へ「かけはし」を伝える～ 四日市録音奉仕の会

社協だより「かけはし」創刊100号を迎えるにあたり、視覚に障害のある人に、録音版「かけはし」を作製いただいている四日市録音奉仕の会の人にお話を伺いました。

録音テープの作成には、「聞く人にとって分かりやすく聞きやすい、そして何より、聞くだけで内容が伝わるよう」ということを心がけているそうです。

録音するだけでなく、内容を正確に伝えるために人名や地名などの確認、録音内容が適切か聞きやすいかの校正が必要です。また、読み方の技術も容易でなく、より分かりやすく聞きやすい読み方を練習するなど、勉強の日々のことです。

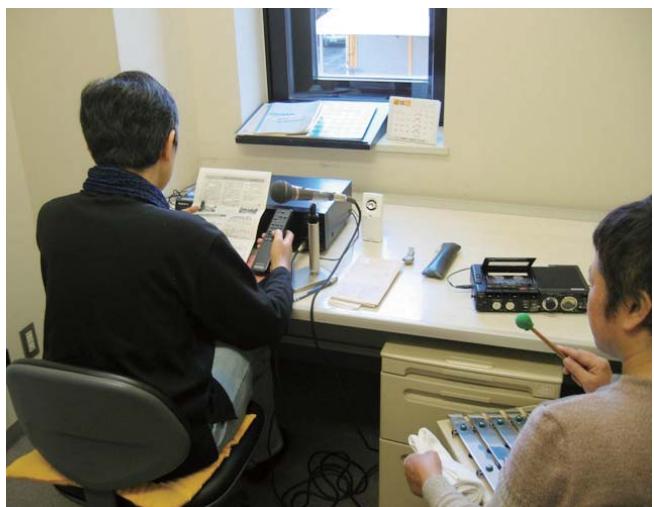
文章を読んで録音する。簡単そうに思えて実は奥が深く大変難しいことだとお話を聞いて実感しました。

こうした録音の活動をされるようになったきっかけを伺うと、「身近に視覚に障害のある人が住んでいて、その人が、可愛い小鳥の鳴き声やラジオの朗読などを、とても楽しみに聞いておられました。それがとても印象的で、視覚に障害のある人にとって、音ってとても大切ななものなんだなあ、と思ったことが忘れられないですね」とのこと。そして活動されている人の多くが、視覚に障害のある人に対して、「何かお手伝いしたい」、「新聞や本を読んで伝えたい」との想いを持っているそうです。そうした想いに、知り合いに誘われて、また、録音奉仕員養成講座の募集を見て、といったきっかけが重なつて現在の活動につながっているそうです。

録音かけはしを利用されている人からは、「こうしてテープを聞くと、催しなどに参加できなくても情景がうかんで、参加した気分になります」と、単に情報提供だけでなく、楽しみの一つにもなっているようです。

録音活動について今後のことをお聞きすると、「よりわかりやすく聞いていただけるよう、日々、勉強を続けていきたいですね」とのこと。視覚に障害のある人に情報を提供する。その一役を担っている人の「人の役に立ちたい。そのための努力を続けていきたい」という熱い気持ちが伝わってきました。

今後も四日市録音奉仕の会のみなさんや市民のみなさんとともに、社協だより「かけはし」を、わかりやすく親しみのある広報紙にしていきたいと思います。



内容が変わるとなどは合図を入れます

## 社協だより「かけはし」のイメージキャラクターが決まりました!!



こころくん

社協だより「かけはし」が創刊100号を迎えました。これを記念して募集いたしましたイメージキャラクターに、ご応募いただきましたみなさま、ありがとうございました。

選考の結果、川尻町の鈴木昌子様の作品「こころくん」を採用させていただくことになりました。このキャラクターは「太陽のようにぽかぽかとあたたかく、天使のように優しいハートを持ったキャラクター」がイメージされています。

市社協ではこのキャラクターのようにあたたかい親しみの持てる社協だより「かけはし」づくりに今後も努めていきたいと思います。